

あらためて箱山町長へ いくつかの質問をいたします 私たちは自分の一票で合併の是非を決めたいと思います

真田町の合併是非論議が盛んになってきたことを歓迎いたします。そのよ
うな中で私たちは、町か
らの客観的で、しかも公
平な資料の提供を今かい
まかと待っています。たと

えば合併推進の説明だけ
では分からないので、「合
併反対や批判的な意見は
どんな内容か」「合併せ
ずに自立してやっていくと
いう小さな自治体の考え
はどうなのか」「今までの
合併協議で合併特例債を
使ってどんな事業に当てよ
うとしているのか」「いま
上田市や真田町は関連事
業団体を含めていくらの
借金があるのか。上田市
の借金を真田町民はどれ

だけ負担するのか」など
などについてです。
町民一人一人はいずれ
自分の判断で合併の是非
を決めなければならぬ
と思っており、判断でき
るだけの資料を提供して

くれるのが公平な立場
にある行政の役割だと
思っているからです。
私たちは今回だけでは
なく、あと何回かにわ
たつてこのような質問を
出す予定です。箱山町
長が応えて下さること
を期待しつつ。

問 1 質 疑

一方の立場だけからの説明でなく、 いろいろな立場に立って 説明をして頂けませんか



最近、箱山町長は「わ
かりやすい説明をする」
「あらゆる機会と場にお
じゃまして正しい情報提
供につとめる」といつて「合
併しないと真田町はやっ
ていけない」という一方
的なわかりにくい「説明」
をしています。町民にと
つて「わかりやすい」とい
うことはどういふことでし
ようか。

箱山町長はいつています
(傍陽小)。町職員は直
接町民の声を聞き、行政
に反映させる努力をして
いるのでしょうか。職員組
合は町へ出て町民ともに
悩み考える姿勢をみせて
くれたらどんなにか頼も
しいことでしょうか。

である事をはつきりさせて
頂きたいのです。
次に「賛成」「反対」の
違いはどこにあるのかを示
すことです。
全国的にも真田町にも
批判や反対などの意見
があります。もともと
複雑な問題点を持つてい
ますから「わかりにくい」
のが当然です。しかし「合
併推進の方針ばかり説明
している」という声は町の
説明を聞いたほとんどの
人の声です。「自立」を
宣言している小さい町村
の首長たちの想いや資料
を分析検討して真田町民
に知らせて下さい。箱山
町長は合併を考える前に
自立についてあらゆる模
索につとめるのが当然では
ないでしょうか。

付けの無い言いつばなし」
「反対のための反対」など
といつて(真田町冊子 9
月)つき放すのではなく、
批判や反対の意見をよく
聞いてそれを住民に伝え
ることをもつともつと大事
にしなければならぬと思
います。それが丁寧で
分かり易い説明の条件で
もありません。

一方的な合併ありきの
説明はもう聞き飽きました。
個人が提供するのでは
ありません。行政とい
う中立の立場からの提供

また町の職員の中には
「反対」が3名しかないと

誤りを訂正し、 謹んでお詫びいたします

「市町村合併情報 さなだ 第
2号」によつて「真田町の合併
と自立を考える会」発行のチラ
シが批判されています。「さな
だ 第2号」が指摘しています
ように「平成13年度歳入決算額」
の一覧表は年度の違うものを掲
載してしまいました。削除させ
て頂きます。お読み下さいまし
たすべての皆様にお詫びを申し
上げます。

「アンケート結果を尊重して下さい」の署名へのご協力感謝します

菅平での署名 652名、真田町全体の署名(12月11日現在) 3904名
でした。町長と町議会へ提出いたしました。
なお支援カンパも 21,700円いただきました。あらためて、有り難うございます。

真田町の合併と自立を考える会

No.2 74-1111
発行日 2003.12.15

問2 質そ

**箱山町長はあれも出来なくなる、
これもできなくなると言うならば
その裏付けになる数字を示して下さいませんか**

地方交付税が減らされるという説明がなされています。地方交付税を減らすかどうかは制度の改定が必要です。制度改訂があつたとすればいづどんな内容なのでしょう。地方自治体の財源としてどのような税金を自治体に移すの

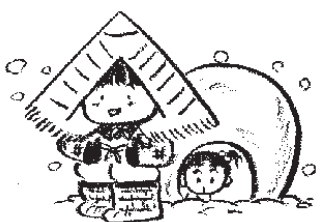
かという「税源移譲」についてすら決定されてはいないのです。先日の12月3日に全国の町村長会がひらかれ、地方交付税制度を堅持することを求める決議を上げています。箱山町長はそれに同調するどころかまだ決まってもないことを先取りして、

あれも出来ないこれも大変になると言っています。町村長会とは相容れないということなのでしょう。真田町が自治体として成り立たなくなるといふ前提に立って住民の不安を助長するような説明をするのは責任ある自治体の長がとるべき態度では

ありません。ましてや「合併しないと学校はなくなる、合併すれば学校の存続を保証する」と思いつませるような説明（菅平小中学校）を公然としているなど町民と悩みを共有しようとしめない冷たい姿勢と言わなければなりませんでしょう。

問3 質そ

**町長はたった10年間くらいの
短期間の財政見通しではなく、
将来を見据えた説明をして頂けませんか**



小さい自治体が成り立つための地方交付税制度を抜きにした自治体運営を論ずることは出来ません。また今後国からの財政締め付けが行われると

一万二千人近い人口を持つているからです。このことは真田町は自治体としてやっていける基盤が壊されることはないと考えるのが普通です。

合併すればそれだけ財政規模が大きくなることは当たり前です。しかし、だから安心とはいえません。そのために合併させや調整が行われたりしているのです。しかし大事な問題点の方針は大部分先送りされていますし、決して「安心」して見守っていればよいものはありません。実際には合併後の為政者の政策や議会の議決によって決

定されるのが普通だからです。上田市の川西小学校の例のように結んだ協定が反故にされるような事例はいくつもあります。ましてや財政効率一点張りの強制合併を進める人たちにお任せしては後になって「あれもこれも出来ません、ごめんなさい」と言われるのではないかと不安を持つのも当然ではないでしょうか。合併後の特例債をどう使うのかさえ明らかにされていません。15年後以降は合併しない場合より交付税は確実に減らされま

町長は町民のこんなつぶやきにも耳を傾けて下さいますか

ピックアップ 声の町民

私たちは署名活動の中で次のような声を聞きました。

●「上田市になったら上田の企業は特別なにも変わらないが真田の企業は住所の変更によって印刷物など何から何まで変えなければならぬ。そのための経費はすべて背負わなければならぬのか。痛み分けしてくれるのか。この不景気のなかで？」

●「上田市菅平高原にしてくれるの？」

●「合併を急ぎすぎている。少なくとも半数以上の人が分かっている状況にならない以上結論は出すべきではない」

●「反対意見つぶしが見え見えでそのことへの反発も大きいと思うよ」

●「情報があまりにも偏っている。町の100人委員会も合併するべきかしないべきかの論議をやっていない」

●「上田市の借金は大きい。これをどうするのか。すりあわせはしたのか。自分たちにどうかかってくるのか？」

(次号につづく)